

令和6年度裾野市地域公共交通活性化協議会(第2回)議事録

日時:令和6年7月18日(木)10:00~11:30

場所:裾野市民文化センター 35, 36会議室

・出席者 別添資料 No.1のとおり

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 委員及び出席者紹介
4. 議事

(1) 裾野市地域旅客運送サービス継続事業実施計画(案) 【資料No.3】

資料により説明

八木委員:3-13 岩波の赤線、認可申請区間はどのような意味か

切久保入口~深良グラウンドは通らなくなるか、時刻表に記載がない

事務局:岩波については、線がずれており、誤りである 西側の道が正しい申請区間

1.6 便の短縮ルートで通る予定、時刻表を修正してお配りする

富士急:切久保入口~深良グラウンドについて、市と調整して修正する予定

挙手多数により承認

(2) 裾野市地域公共交通計画の改訂 【資料No.4】

資料により説明

質疑無し

挙手多数により承認

(3) デマンド型乗合タクシーについて 【資料No.5】

矢崎総業(株)息氏より説明

息氏:モビリティ勉強会として交通手段について検討している

麦塚区の方からデマンドを求める声があったのがきっかけになった

麦塚と桃園をつなぐルートで、主なタクシー降車地点である MV 茶畑店、裾野駅、ベルシティ、MV 裾野店を経由する

火木土及び6の付く日に運行し、行の乗車から帰り乗車まで1時間または2時間を選べる運行としている

【質疑】

八木委員:運賃について、高齢者バスタクシー補助券は使えるか

息氏：市と協議済で、利用できる

岩崎委員：利用に際して登録をしてもらう必要があるか 乗車人数が増えた場合は、台数が増やせるか

息氏：利用者がどういう人か把握するため、アンケートなども利用することから、登録は必要としている 大人から子供まで利用は可能

中川委員：1乗車は最大3人までとしている ドライバー不足で1便1車両までしか出せないなので、次の便の利用をお願いすると思う

原田委員：ほかのタクシー事業者と調整は済んでいるか

中川委員：安全タクシーと2社でやる予定だったが、協議した結果10月には参加できないとのことだったので、一旦はミツワ交通のみでやる

挙手多数により承認

(4) 裾野市地域公共交通活性化協議会要綱の改正について

資料により説明

挙手多数により承認

(5) 裾野市地域公共交通運賃料金協議会議設置要綱の制定について【資料No.6】

資料により説明

勝又委員(教育部長)：運賃料金協議会の役員で住民代表はだれか

事務局：区長会代表の幹事を担当されている方をお願いしたい 今年度は須山区長会代表

岩崎委員：運賃料金協議会について、委員は4名か、その中から会長を選ぶのか

評決が同数の場合、議長が決めるのか

事務局：いずれもその通り

八木委員：実証実験についての承認でよろしいか

会長：その通り

藤井委員：サービス継続事業の変更について、バス路線のルートが変わったことは分かる 最終手段として、時間的ななかでよく頑張っていると思う

デマンドについて、企業から今回のような協力はなかなか得られない

市では不便地域に住んでいる方について、事務局は丁寧に取り組んでほしい

需要想定ができて利用が見込まれる地域についてよく考えて、市の計画にどう位置付けるか考える必要がある
費用負担について、本格的になった際、協力事業者に頼み続けることはできないため、フォローの仕方を考えて
おかないと地域に根付くサービスはストップしてしまう

買い物中心の利用目的で考えたものだと思うが、他市町の事例で、集めるところは集会所、帰りはタクシーで個別にというのもある。

5. その他

事務局:次回会議は10月頃の実施を予定している 改めて開催通知等送付する。

6. 閉会